

# 01 Yokohama Minatomirai Railway

みなとみらい線制服をfカレ生がデザイン

横浜高速鉄道みなとみらい線の新制服を学生がデザインしています。駅員へのリサーチを基に旧制服の問題点を解決し、新しい時代のユニフォームを作り上げました。また、旧制服を活用したりサイクルワークショップも開催しています。  
※2019年10月1日から着用スタート



# 02 YOKOHAMA TAKASHIMAYA

高島屋横浜店とのコラボレーション

アクセサリーの企画・デザインをきっかけに、2019年は開店60周年記念イベントの連携に、ほぼ全学科で参加しました。未来の制服プロジェクトや結婚式のプロデュース、傘の商品企画、美容売場のサポート、ネイルサービスなどを実施しました。



# 03 avex

アーティストの衣装デザインと製作

アーティストグループ、東京女子流の衣装製作をきっかけに、衣装デザインの連携を行っています。アーティストやクリエイターとのコラボで、学生たちがデザインと製作に協力しています。



# 04 Ash, TONI&GUY

人気ヘアサロンとのコラボ授業

現役美容師から最新のヘアアレンジテクニックの指導を受けています。またカメラマンによるハイレベルな撮影を行い、フォトコンテストに応募。また写真技術や、SNSによる情報発信力を学んでいます。



# 05 YOKOHAMA B-CORSAIRS

横浜ビー・コルセアーズとの学園横断的取組

バスケット B1 リーグ、横浜ビー・コルセアーズとの取組みでは、試合会場でのフェイスペイントやボランティアスタッフのユニフォームデザイン企画など、岩崎学園全体での連携を行っています。



## COLLABORATION

## Project / Class / Event / Workshop

# 06 KIREInoCHIKARA PROJECT

キレイのカプロジェクトでヘアドネーションのサポート

キャンサーリボンズ、パンテーン、スヴェンソンが行っているヘアドネーション活動に学生たちが参加しています。姉妹校の横浜実践看護専門学校の学生がのびた髪のカットを、卒業生とともにしています。



# 07 YOKOHAMA WEDDING

横浜のホテル・ブライダル企業とのコラボイベント

横浜のウエディングの魅力を発信するコンテストを、地元のホテル・ブライダル企業と協力し毎年8月に開催しています。三つの部門のグランプリを決定し、受賞者は親善大使として横浜のウエディングの魅力を発信します。



WE WILL GROW THE PROFESSIONAL TOTAL FASHION, BEAUTY AND BRIDAL. AND WE WILL SUPPORT STUDENT'S FUTURE.  
YOKOHAMA f COLLEGE

岩崎学園 横浜fカレッジは協力企業とともにさまざまな連携プロジェクトを行っています！

### 産学連携の目的

- ・現場での実践力を身につける
- ・社会と関わり第三者の評価を受ける
- ・持続可能な社会をともに実現する
- ・社会に発信し共有する

### 連携企業・団体名

横浜高速鉄道/横浜高島屋/マークイズみなとみらい  
エイベックス/パナソニックエイジフリー  
Ash / TONI&GUY / 資生堂 / IWAKIYA  
横浜ビー・コルセアーズ/三菱重工相模原ダイナポアーズ  
キャンサーリボンズ / BRIDGE KUMAMOTO ほか

# 08 BRIDGE KUMAMOTO

ブリッジマモトのブルーシートリサイクルに協力

一般社団法人ブリッジマモトが行う熊本地震で廃棄となったブルーシートのリサイクル活動に協力。子どもたちと一緒にミニバッグ(サコッシュ)を作るワークショップの運営を、学生たちがサポートしています。



# 09 MARKis minatomirai

マークイズみなとみらいでショーと広告企画

ハロウィン、バレンタインの時期に合わせた、館内掲示ポスターを含むキービジュアル企画で連携を行っています。また、卒業製作ファッションショーや館内での作品展示を定期的に行っています。



# 10 Furisode Design Award

学生デザインの振袖がIWAKIYAで販売

2015年より、地元横浜の着物店いわきやと振袖デザインアワードを共催。グランプリ作品は、毎年20着ほど製作・販売・レンタルされ、成人式用の振袖として好評を得ています。



## INTERVIEW

みなとみらい線の新制服を私たちがデザインしました！

ファッションライフデザイン学科  
山口 翔真(写真左) 県立茅ヶ崎高校出身

「未来を感じさせる明るいイメージや視覚的楽しさを新制服に取り入れたいと考えデザインコンセプトを立てました。私達のデザインに決定した時はとても嬉しくて、その日はずっと落ち着きませんでした。プロのリアルな現場を覗くことができ、またトータルでデザインに携わることができたことは、将来の仕事につながる、貴重な経験だと思います」

